

2022.4

2022年度
設置構想中

設置構想は予定であり、
内容に変更の可能性があります

鳥取大学大学院工学研究科 博士後期課程が 新しく生まれ変わります

これまでの**4**専攻を**1**専攻に統合

情報社会システム

システムやサービスを中心とした領域

- 社会的なイノベーションを追求
- 人口減少・高齢社会、安全安心な地域形成への貢献
- 「情報」×「社会システム」に基づく異分野横断・実践的な研究

資源・エネルギー

資源、エネルギーを中心とした領域

- 新たな資源、エネルギーのイノベーションを追求
- 低炭素社会、循環型社会、健康寿命、持続的エネルギーへの貢献
- グリーンケミストリーやバイオサイエンス・テクノロジーに基づく基礎から事業化にわたる学際的な研究

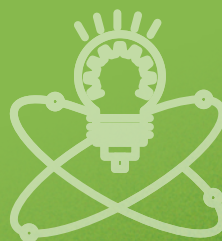
先端科学技術

ハードウェアを中心とした領域

- 技術的なイノベーションを追求
- 革新的なもののづくり(研究開発から実装、派生分野の開拓)への貢献
- 産業の核となるもの、システムの先端的な基盤技術の研究開発



Information
society system



Resources / energy



Advanced science
and technology

- ▶ これまでの4専攻を1専攻に統合し、分野を横断・融合した学びを促進します。
- ▶ データサイエンスの科目を設置し、Society5.0に対応した学びの機会を強化します。
- ▶ 実践的な科目を設置し、協働力や社会実装・事業化の展開力を養います。
- ▶ 社会人のリカレント教育の場として博士後期課程を活用しやすくします。



鳥取大学
工学部・大学院工学研究科

お問い合わせ／鳥取大学工学部 教務係

TEL.0857-31-5186



鳥取大学大学院工学研究科(博士後期課程) 入学生を募集しています。

別添の募集要項[<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/graduate/3495>]をご確認いただき、

博士(工学) の学位取得に向け、チャレンジをお待ちしております。

また、各企業におかれましては、工学研究科を専門教育の場、共同研究の場として、是非ともご活用下さい。

《目指す人材像とその能力》

○ 高度に専門的な工学の知識と異分野にまたがる豊かな知識を有するとともに、データサイエンスの素養を備えた人材の育成。 具体的には、主となる専門分野を支柱として確立し、必要に応じてデータサイエンスを駆使しつつ、分野を横断した研究を推進できる能力をもつ研究者・技術者の養成を目指す。

○ 技術と科学ならびにこれらを活用するための知識に基づいて、学術を探究しつつ課題の解決ならびに新たな価値を創造できる人材の育成。 具体的には、基礎的な専門知識を踏まえつつ、新たなシステムやサービスを導入するための社会実験・実装や事業化も視野に入れて研究を展開できる研究者・技術者の養成を目指す。

○ 課題を発見し、それを解決するためのプロジェクトを構想するとともに、それを推進するための実践、協働、マネジメント力を有した人材の育成。 具体的には、工学に関連した人文社会(経営や倫理など)や異分野の教養を備えつつ、ワークショップやプロジェクトなどの企画・運営により協働的に事業を推進できる研究者・技術者の養成を目指す。

《学修証明プログラム》

工学研究科(博士後期課程)の令和4年度以降入学の社会人学生に対しては、博士号の取得を目指すプログラムに加えて、学修証明プログラム[工学エキスパート養成プログラム(案)]を計画しています。

このプログラムでは、一群の科目を修得するとともに、ご自身が計画した研究を実施していただくと、学修証明を取得することができます。

《経済的支援》

経済的理由により、入学金・授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者について免除制度を設けています。 また、社会人学生の成績優秀者、県内企業に所属する者[新設]を対象として、入学金・授業料相当額を支援する奨学金制度を設けています。

【お問い合わせ】

鳥取大学 工学部 教務係

Tel: 0857-31-5186

Mail: en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

プログラム名：工学エキスパート養成プログラム（案）

目的：SDGs, Society 5.0, 人生100年時代, グローバル化, 地方創生など, 社会は大きな転機を迎えている。次の社会の構築には工学技術の貢献が期待されており, その技術を活用して課題を解決し, 新たな価値の創出を担う人材が求められている。具体的には, 「高度に専門的な工学の知識と異分野にまたがる豊かな知識を有するとともに, データサイエンスの素養を備えた人材」「技術と科学ならびにこれらを活用するための知識に基づいて, 学術を探究しつつ課題の解決ならびに新たな価値を創造できる人材」「課題を発見し, それを解決するためのプロジェクトを構想するとともに, それを推進するための実践, 協働, マネジメント力を有した人材」が必要とされている。このプログラムは博士後期課程の（社会人）学生を対象とし, 自身の研究計画に沿ってこれらの3つの要素を学び, 工学技術による社会の構築を先導するための能力を養うことを目的とする。

科目：主指導教員の履修指導を踏まえて, 以下のうち○印を付す科目から選択する。

データサイエンス科目	実践科目	専門科目
○データサイエンス特論Ⅰ ○データサイエンス特論Ⅱ ○データリテラシー特論	・知的財産マネジメント特論 ・ベンチャービジネス特論 ・工学教養ゼミナール ○工学実践ワークショップ ○工学実践プロジェクト ○学外連携実習	○情報社会システムの領域に属する科目（31科目） ○資源・エネルギーの領域に属する科目（24科目） ○先端科学技術の領域に属する科目（30科目）

修了要件：「高度に専門的な工学の知識と異分野にまたがる豊かな知識を有するとともに, データサイエンスの素養を備えた人材」の育成にはデータサイエンス科目ならびに専門科目, 「技術と科学ならびにこれらを活用するための知識に基づいて, 学術を探究しつつ課題の解決ならびに新たな価値を創造できる人材」の育成には実践科目ならびに専門科目, 「課題を発見し, それを解決するためのプロジェクトを構想するとともに, それを推進するための実践, 協働, マネジメント力を有した人材」の育成には実践科目の修得が必要であり, とりわけ, 工学実践ワークショップもしくは工学実践プロジェクトという対話・参加型の知識・経験が不可欠である。

以上により, 自身の研究計画に基づいた主指導教員の履修指導を受けつつ, 以下の要件を満たす場合に学修証明プログラムを修了したことを認定し認定証を授与する。

- ・データサイエンス科目から1単位以上を修得すること。
- ・実践科目のうち, 工学実践ワークショップ, 工学実践プロジェクト, 学外連携実習から1単位以上を修得すること。
- ・専門科目から2単位以上を修得すること。